

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	1 年	1	選必
担当教員			
清水 真紀子			
G (現代ビジネス学科)	L (基礎科目)	LG (語学・言語学)	102 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	世界的ベストセラーを教科書として使用し、数多くの会話向け文法問題練習を通じながら、しっかりとした英語を使える・話せるようになるための学習方法を身に付け、基礎力の底上げを目指す中級者むけの実践的科目。 指定したテキストは文法の参考書として使用可能なため、かなりのボリュームがあります。15回ですべてを扱うことはできません。授業以外での英語学習習慣をつけるため、授業で扱えない範囲は、各自興味がある文法項目を選び、レポート形式で内容についてまとめて提出していただきます。		
授業計画	第1回	【遠隔】オリエンテーション 概要説明、授業の進め方、履修における注意点、診断テスト、ログのつけ方など 予習（時間）：講義概要を読み、授業内容や方針を把握する（30） 復習（時間）：授業内容、方針、課題などを再確認する（30）	
	第2回	【遠隔】診断テスト 巻末の診断テスト1.1 から 3.7を解き、自分の課題点を確認しましょう。 予習（時間）：巻末の診断テストを解く（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第3回	【遠隔】時制①現在形と過去形 # 1－6 時制の復習をします。 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第4回	【遠隔】時制②現在完了形 # 7－14 現在、過去、現在完了形を使いこなせるようにします。 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第5回	【課題】巻末の診断テスト4.1 から 9.18を解き、自分の課題点を確認する。自分の課題となったユニットを学習しておく。 自己診断第2回目 どこが自分の弱点かしっかり見直しましょう。 予習（時間）：診断テストを解き、理解できていない部分を理解する。練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第6回	未来形 # 18－23 未来形を復習します。will、be going to、の使い方の違いはわかりますか？この機会にしっかり身につけましょう。 予習（時間）：練習問題、小テストを復習し、テストに備える（60） 復習（時間）：できなかった問題を確認し、まとめておく（30） 。	
	第7回	助動詞Modals①#26～31 助動詞の復習をします。 。 予習（時間）：練習問題、小テストを復習し、テストに備える（60） 復習（時間）：できなかった問題を確認し、まとめておく（30）	
	第8回	仮定法 # 32 仮定法を使って、提案をする方法を勉強します。 予習（時間）：できなかった問題を確認し、まとめておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第9回	仮定法 # 36－38 日本人の英語学習者が苦手な仮定法を復習します。 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30）	
	第10回	間接疑問文 # 47、48 間接疑問文を復習します。 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30）	

	第11回 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30） 【課題】巻末の診断テスト12.1-14.8を解き、自分の課題点を確認する。自分の課題となったユニットを学習しておく。 自己診断第2回目 どこが自分の弱点かしっかり見直しましょう。 第12回 予習（時間）：診断テストを解き、理解できていない部分を理解する。練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30） 関係代名詞 # 9 2 - 9 4 関係代名詞を復習します。 第13回 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30） 形容詞と副詞 # 9 6 - 9 8 形容詞を副詞の違い、使い方の違いが理解でき、適切に使えるようになります。 第14回 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30） 接続詞と前置詞 # 1 1 3、1 1 9、1 2 0 接続詞とは、前置詞との使い分けを復習、再確認します。 第15回 予習（時間）：文法事項を読み、練習問題を解いておく（30） 復習（時間）：自分の課題点を再確認し、まとめておく（30） 【課題】まとめ 学習した内容を総復習します。自分の課題であった項目と理解度を確認し、今後の自立した英語学習につなげていけるように整理する。 予習（時間）：練習問題、小テストを復習し、質問があればまとめておく（30） 復習（時間）：できなかった問題を確認し、テストに備える。（30）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP2：「基礎的知識を身に付けており、学んだことを発信できる能力を身に付けている。」に該当 【身に付くスキル】 発信力・協働力
到達目標	①時制の違いが理解できる ②助動詞を適切に使うことができる。 ③適切な関係代名詞を選び、英文を完成することができる。 ④自分の弱点を理解し、克服するために努力できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	クイズ（小テスト）に関しては、その場で答え合わせを行いフィードバックを行います。 期末テストに関しては、学期終了後となりますが、必要な学生に対し個別でフィードバックを行います。
履修上の注意	毎回出席（やむをえない場合を除く）が原則です。欠席した場合は自らの責任で、授業内容の穴を埋めること。また、授業開始直後にクイズ（小テスト）（前回分の復習確認テスト）を行います。遅刻や欠席をしてしまうと受けることができなくなるので注意すること。
成績評価の方法・基準	・クイズ（小テスト）（30%） ・自習レポート（ログ含む）（30%） ・期末テスト（40%）
教科書	マーフィのケンブリッジ英文法（中級編）第3版 Raymond Murphy Cambridge University Press
参考書・教材	
備考	2020年度は5, 11, 15回を課題研究として学修する。 全て、自分で診断テストを行い、自分の弱点または混同して覚えている部分をあぶりだし、整理をする。記録として自習レポートを仕上げる。翌週の授業で提出を行う。第15回に関してはMellyでの提出とする。なお、実作業全体では各回全て150分を想定している。
教員との連絡方法	Melly, email, オフィスアワーを活用してください。